

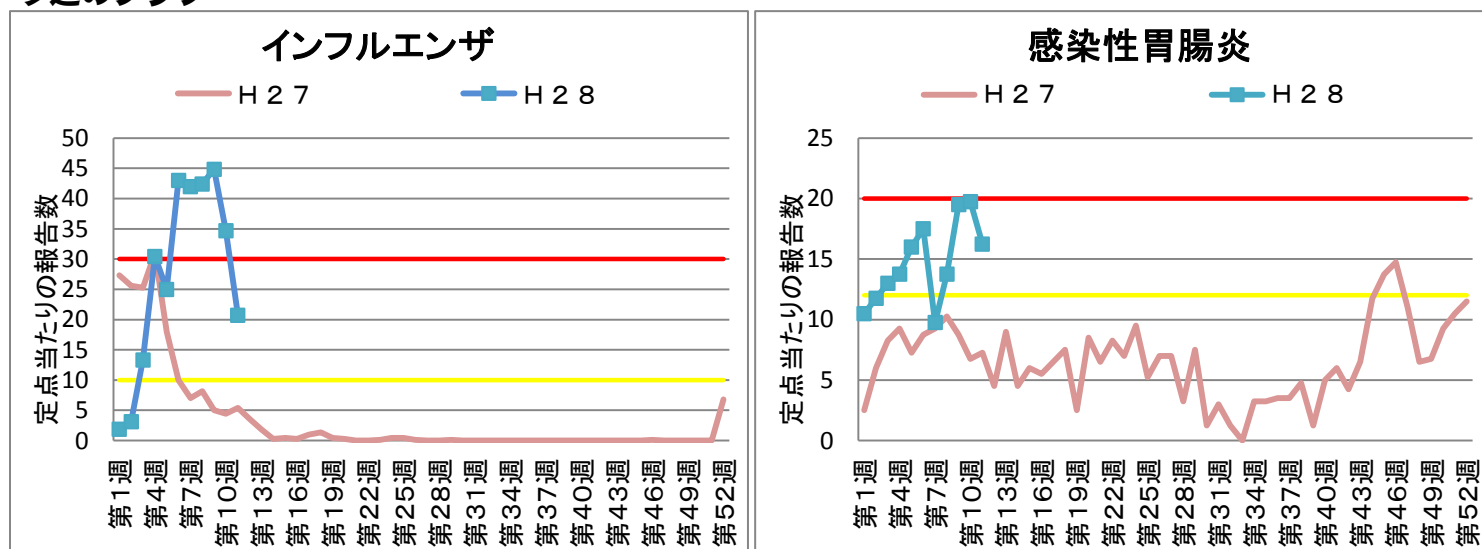
乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (小児科定点、インフルエンザ定点)

第 11 週 平成28年3月14日 ～ 平成28年3月20日

今週のコメント

- 第11週(3月14日～3月20日)の1定点医療機関当たりのインフルエンザに罹患された方の報告数は20.71まで減少しています。
- 感染性胃腸炎の報告も減少傾向です(16.25)。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告が増加し、流行警報基準値の1定点医療機関当たり4となっています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は主に飛沫感染し、1～3日の潜伏期間の後、咽頭痛・発熱にて発症し、その後、発疹がみられます。医療機関で指示された期間の抗生物質の内服が有効です。

今週のグラフ



* ——— 流行警報基準値です ——— 警報継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	20.71	手足口病	-
RSウイルス感染症	-	伝染性紅斑	-
咽頭結膜熱	1	突発性発しん	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	百日咳	-
感染性胃腸炎	16.25	ヘルパンギーナ	-
水痘	0.25	流行性耳下腺炎	-

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

* 乙訓管内 インフルエンザ定点数：7箇所、小児科定点数（インフルエンザ以外の疾病）：4箇所

参考資料等

報告週対応表

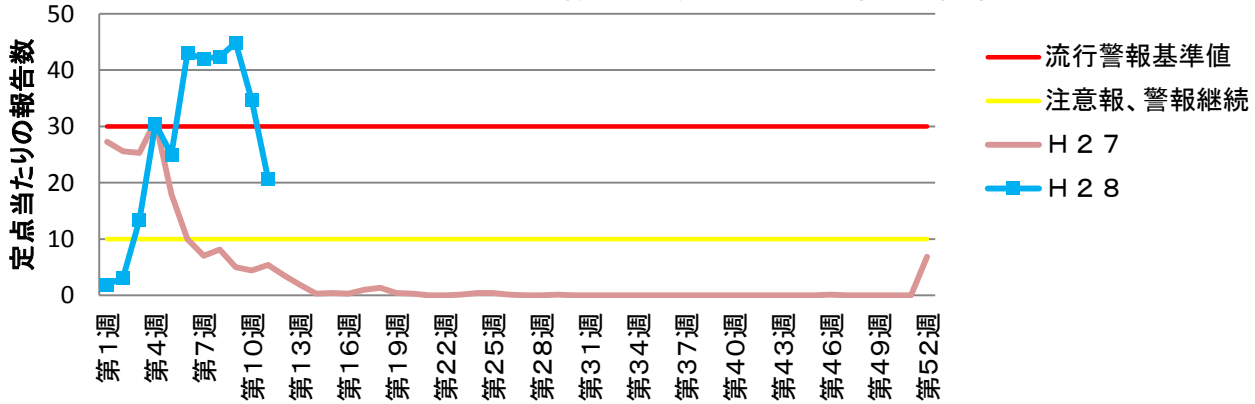
警報・注意報基準値の説明

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

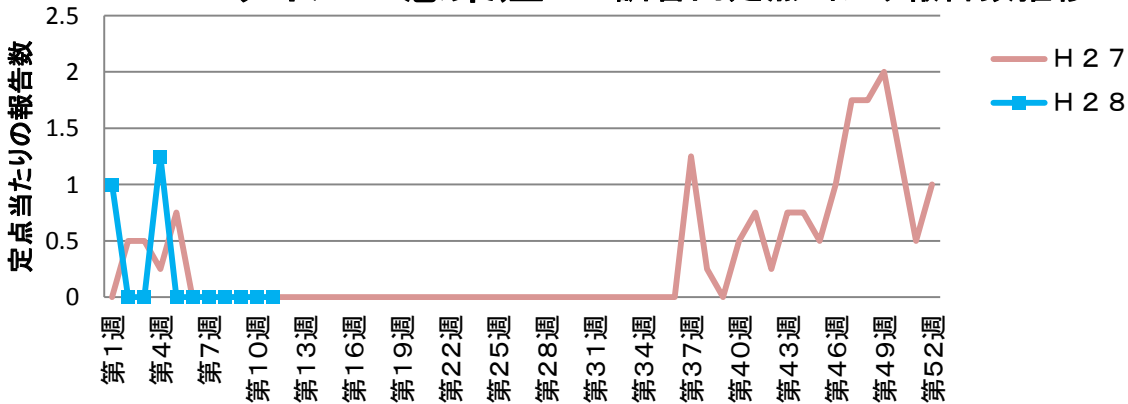
<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide05.html>

定点報告による各疾病の推移

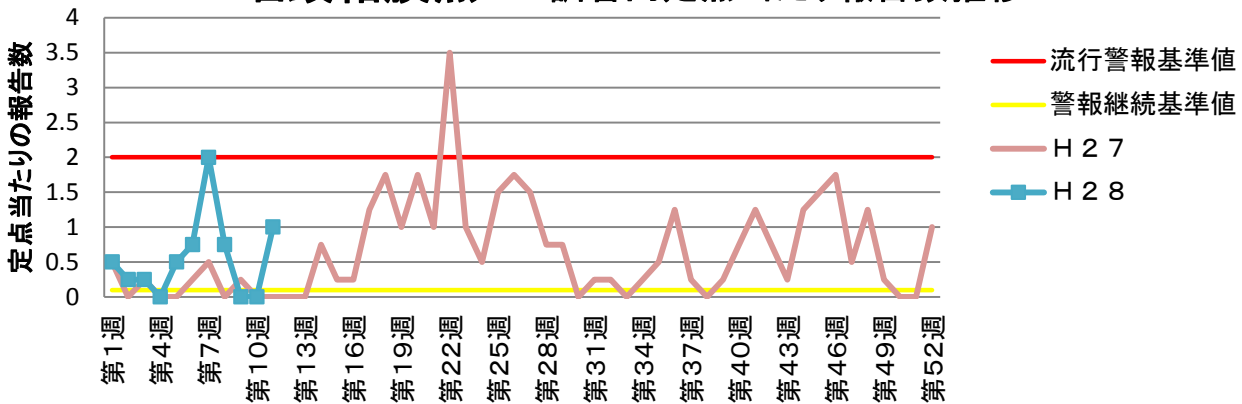
インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



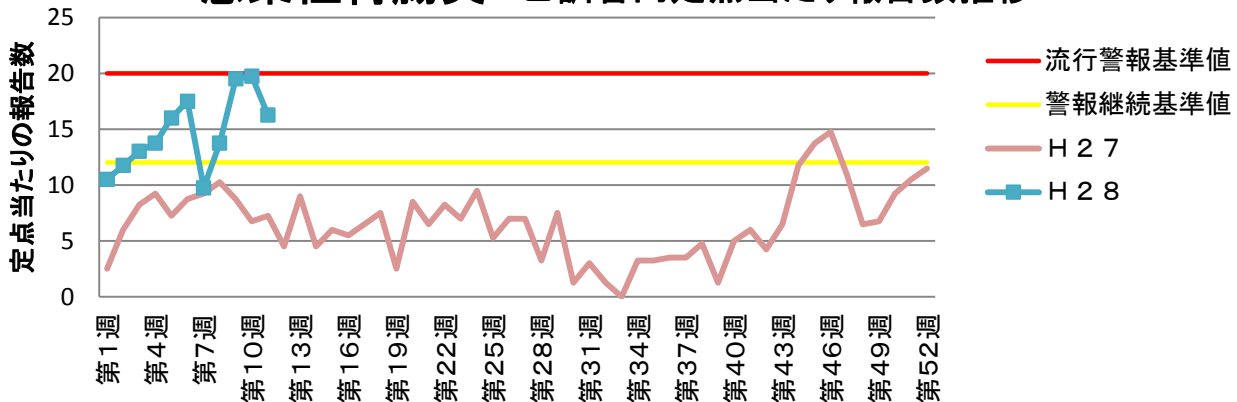
RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



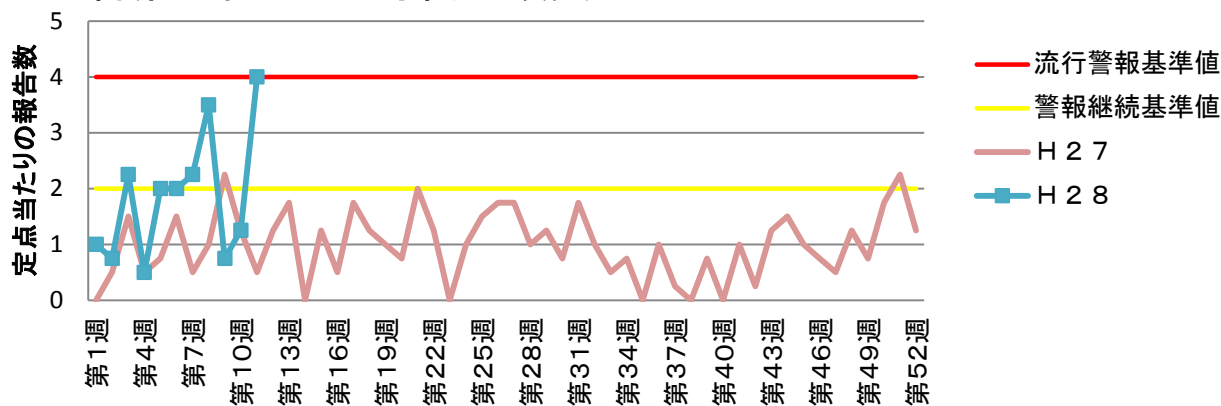
咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



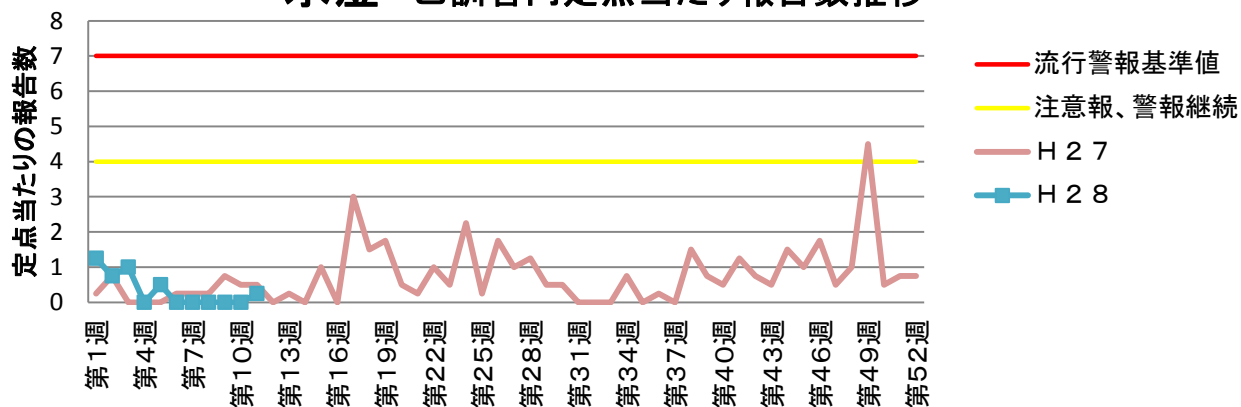
感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



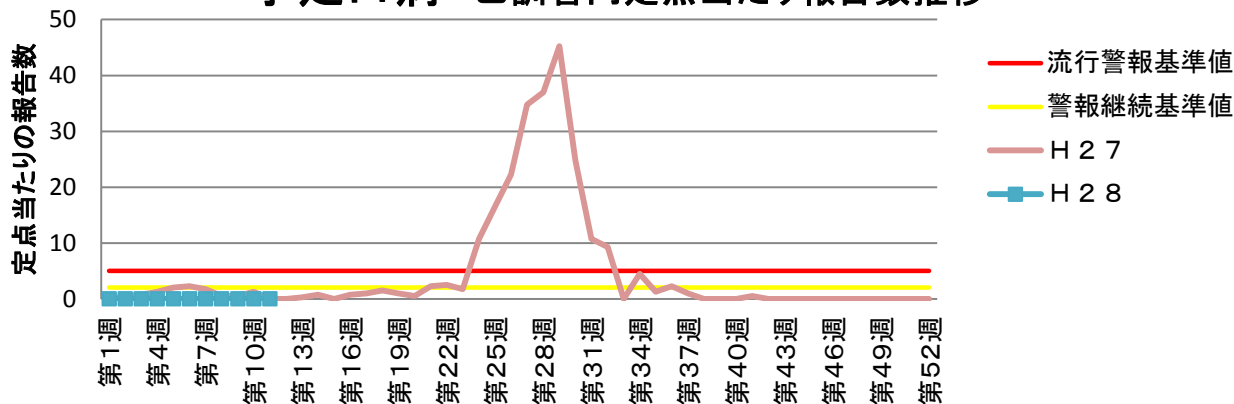
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



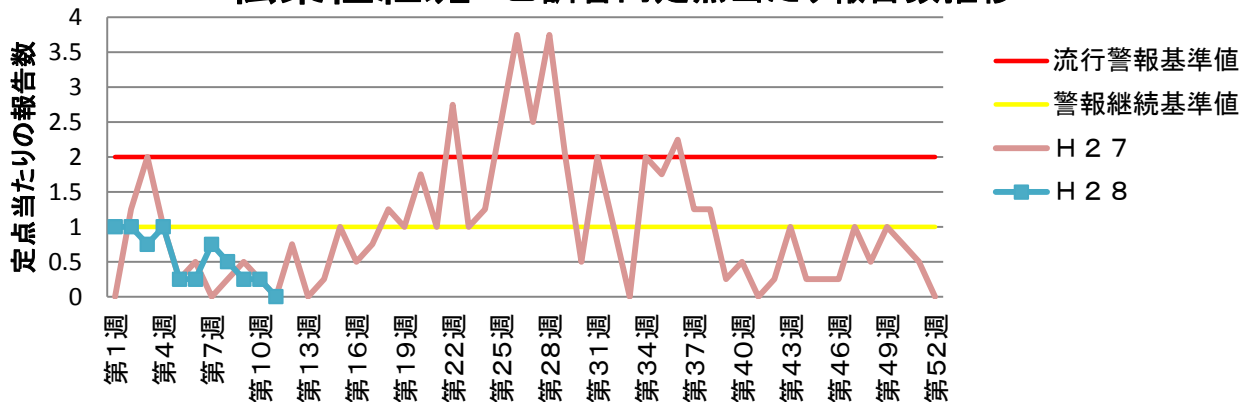
水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



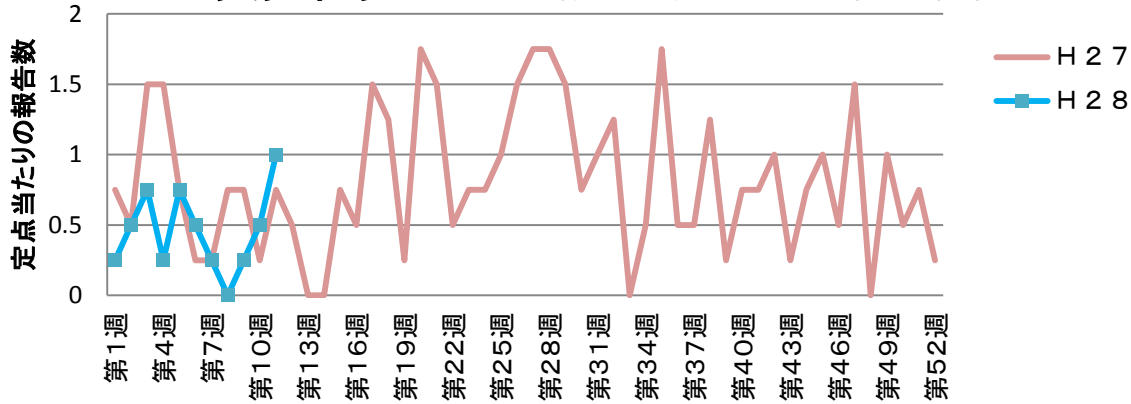
手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



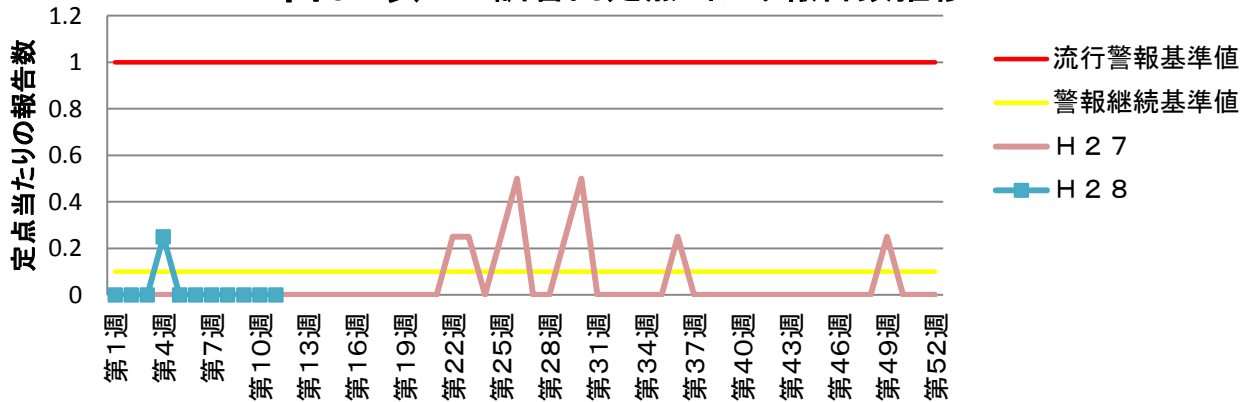
伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



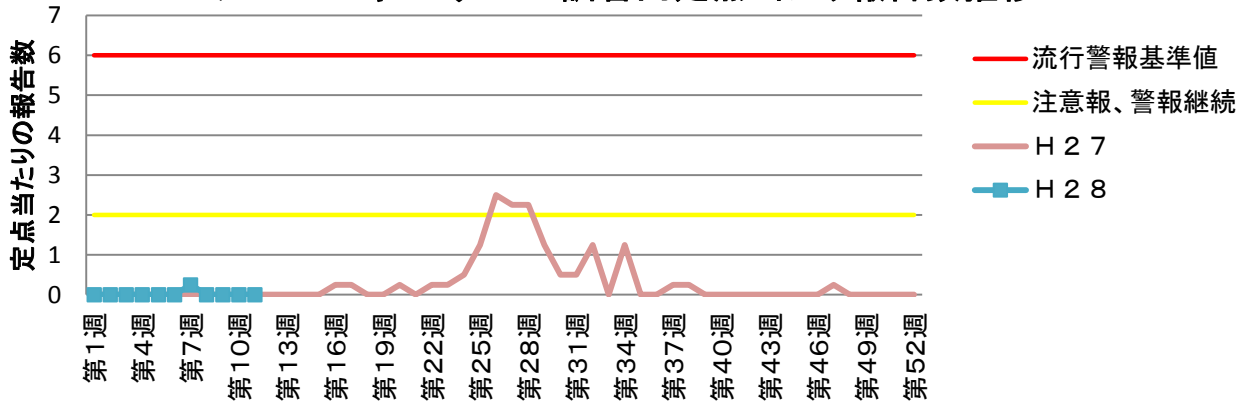
突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



百日咳 乙訓管内定点当たり報告数推移



ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

